

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No390

平成 28 年 6 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

第 51 回通常総会開催

平山体制が三期目に 組合の大幅な刷新急務



平山理事長が三選された第 51 回通常総会

第五十一回通常総会は、五月二十三日(火)午後四時より、日暮里の「ホテルラングウッド」に於いて開催され、各議案がすべて満場一致で可決承認されました。弓納持福理事長の司会で定数を満たしているため総会は設立する旨が宣言され、議長に渡邊正一顧問を選出して議案の審議に入りました。

第一号議案・平成二十八年度事業報告及び決算関係書類承認の件は、本間敏道選出して議案の審議に入りました。第三号議案・平成二十九年最高限度額決定の件についても、従来どおり二千万円

第五号議案・理事・監事選挙の件では、渡邊理事長より例年通り指名推薦制を取りたい旨が説明し、選考委員長に野尻公義氏、選考委員に北島憲高氏、本堂誠氏、本間敏道氏が指名され、別室に於いて選考委員会が開かれた結果、別紙の通り理事十一名、監事二名が候補として委員長より発表され渡邊議長から新理事について承認を求めた結果、満場一致で承認されました。

引き続き第一回目の理事会が別室で開催され、理事長に平山良一氏、副理事長に弓納持昇氏、専務理事に本間敏道氏がそれぞれ再選され、常務理事には北島憲高氏、狩野浩行氏、清宮和夫氏の三名が指名され、総会は無事終了しました。総会終了後会場を移して、協賛会員、ご来賓、報道関係者を交えて恒例の懇親会が開催されました。

本間専務理事の司会で、最初に総会が無事終了し新たなスタートが切られたことが報告され、ご来賓の紹介の後、新役員が紹介されました。また、協賛会も先の総会で新役員が変更になったため、改めて紹介されました。

挨拶に立った平山理事長は「本日はお忙しい中、中央会の橋北様、新会長になられた西尾様初め皆様、又多くの協賛会の皆様にお集まり頂きまして、組合員一同深く感謝申し上げます。先ほど別室で第五十一回通常総会が行われ、各議案が審議承認されましたことをご報告申し上げます。これからの二年間は委員会組織を以前の分かりやすい形に戻し、技術環境、教育経営、広報情報、事業、福利厚生などの五委員会を組合員の自主運営体制により活動していきます。又、当組合の持ち味、特徴は何か、組合の将来はどうするかといった根源的課題を次世代を担う組合員を中心に模索してまいります。どうぞお集まりの皆様方によりこうした活動

に対し力強いご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます」と組合運営について説明しました。

④ デジタルプリンターの将来性と課題について検討する

4・福利厚生委員会
組合員および従業員の福利厚生に関する各種事業を行い、ゆとりと余裕のある労働環境構築に努める。

さらに「組合員の皆様へ

新役員は次の通り。

■ 理事長・平山良一(日本

2・教育・経営委員会

① 従業員対象の働き方改革の徹底

お礼とお願いがございます。

ラベル) ■ 副理事長・弓納持

経営者と従業員の意識改革と、資質の向上を目的にした各種事業を実施する。

② 組合研修旅行の実施と組合員、従業員を対象にした福利厚生事業の充実

先ほどの総会でお示しした

昇(昇栄シール) ■ 専務理事

③ シール印刷グリーンプリンティング(GP)認定制度取得の支援

⑤ 事業委員会
組合財政の基盤強化のために、副資材の共同購入と新たな事業収入の道を探る。

ように昨年は二〇年ぶりの

事・本間敏道(事務局) ■ 常務理事

③ 雄型用紙等、副資材等商品の調査・研究に努める。

③ 組合取扱商品の拡大

賦課金の値上げをご承認頂

務理事・北島憲高(新任・北

③ 育児休業や介護休業法など関連法規の周知徹底。

③ 印刷関係紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

き、おかげさまで何とか黒

島シール印刷)。狩野浩行

② 人材の育成を目指した、経営者、従業員対象のセミナーの開催

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

字の決算をすることができ

(新任・一レックス)、清宮和

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

ました。有難うございます。

夫(留任・員外) ■ 理事・野尻

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

今後は是非各委員会の活動

公義(弥生印刷)、本堂誠(サ

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

にもご参加頂き、手作りで

ン技研)、高橋邦浩(新任・ア

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

組合を有意義なものにした

ームシール)、藤井崇徳(新

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

くよろしくご協力をお願い

任・大進ラベル)、鷹野良治

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

申し上げます。結びに、本

(新任・丸子ラベル印刷)

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

日の懇親会をお時間の許す

限りお楽しみください。皆

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

様のご健勝を記念しまして

ご挨拶とさせていただきます

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

す。有難うございました」

と、組合事業への積極的な

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

参加を呼びかけました。

クル化に取り組む

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

続いて「来賓として東

① ラベル関連ミニ機材展

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

京都中小企業団体中央会の

の開催

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

橋北隆総務課長と協賛会の

② RPF化によるリサイ

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

西尾弘之会長からそれぞれ

クル化事業のさらなる普

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

祝辞を頂戴しました。

及・啓蒙

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

渡邊正一顧問の発声で

③ 製版技術のCTP化に

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

出席者全員で乾杯をし、和

よる進歩に遅れないための

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

やかな歓談が繰り広げられ、

版や刃型などの使用方法に

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

午後八時前に山本進平相談

についての勉強会の実施

④ 「2017 2018 年版組合

④ 「2017 2018 年版組合

平成二十九年度事業計画

1. 技術・環境対策委員会

① 組合機関紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

① 雄型用紙等、副資材等商品の調査・研究に努める。

2. 広報・情報システム化委員会

① 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

① 雄型用紙等、副資材等商品の調査・研究に努める。

3. 印刷関係紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

4. 福利厚生委員会

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

5. 事業委員会

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

6. 印刷関係紙『ラベルニュース』のよりいっそうの紙面充実をはかる。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

7. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

8. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

9. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

10. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

11. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

12. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

13. 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

② 組合オリジナル取扱商品の調査・研究に努める。

青年部が第33回通常総会

昨年度に引き続き<起業> テーマに情報交換の場を

青年部の平成二十九年
度第三十三回通常総会は、
五月十九日(金)午後六時半
より、上野の「グリーンパ
ーク」に於いて開催されま
した。

総会は藤井理事の司会で
議長に藤井崇徳部長を選出
し、第一号議案・平成二十
八年度事業報告(藤井部長)、
第二号議案・平成二十八
年度会計報告(川端信夫理事)、
第三号議案・平成二十八
年度監査報告(北島憲高理事)、
第四号議案・役員改選案(藤
井部長)第五号議案・平成二
十九年度事業計画案(北島
罔芳理事)、第五号議案・平
成二十九年年度予算案(弓納
持理事)の各議案を満場一

致で可決承認しました。

この後弓納持昇副理事
長、正札シール組合と神奈
川県シール組合の青年部長
がそれぞれ祝辞を述べ、本
間敏道専務理事の音頭で乾
杯しました。

基本方針

一般の事業としまして
は、昨季に引き続き「起業」
をテーマに、多種多様な勉
強会の開催や定例会などの
情報交換の場をつくること。

関東三協組だけではなく、
印青連を通じた近い業種の
方々、中央会を通じた他業
種の方々を中心に様々なヒア
リングを試み、新たな価値

創造を探索し実践し、進化
していくことを目標に青年
部一同で頑張つて参りたい
と思います

- ① 青年部の活動促進、部員
相互の交流
- ② 他協組青年部との研修及
び交流
- ③ 定期的な勉強会・研修会
の開催
- ④ 印青連・中央会を通じて
同業種、異業種との交流
- ⑤ webを通じた情報交換や
交流・発信活動(SNS等)

東京シール・ラベル印刷協賛会

新会長に西尾弘之氏を選出



新会長の西尾弘之氏

東京シール・ラベル印刷

支予算案をすべて満場一致
で可決承認し、第五号議案・
役員改選の件では、長年会
長を務めてこられた大内昭
彦氏から、同じくリネット
クの西尾弘之氏が新会長に
選出されました。

協賛会は、五月九日(火)午
後五時より丸の内の日本工
業倶楽部に於いて第十三回
通常総会を開催し、新会長
にリネットク代表取締役社
長の西尾弘之氏を選出しま
された。

新役員は次の通り。

総会は第一号議案・平成
二十八年年度事業計画、第二
号議案・平成二十八年度決
算報告、第三号議案。平成
二十九年年度事業計画、第四
号議案・平成二十九年度収
正昭(リネットク)

■ 会長・西尾弘之(リネットク)
■ 副会長・高橋範幸(サンワークケン)村田淳
(村田金箔) ■ 会計・大滝亮
(東京タック) ■ 監事・吉武



青年部の第33回通常総会風景

第二十七回シールラベルコンテスト

日頃の自社の技術を試す好機に

全日本シール印刷協同組合連合会主催の恒例のシールラベルコンテストは、今回で第二十七回を数えるが今回も六月一日より、出展



応募受付が始まりました。今回も自由課題と規定課題が設けられており、自由課題は印刷方式によって七部門に、規定課題は平圧式の凸版印刷と輪転または間欠輪転式凸版印刷の二部門に分かれています。

応募規定は巻取り原反で印刷又は加工し、通し回数3回以内で作製した作品(⑦部門は除く自由課題)大きさは原則としてA4版以内となっている。

今回の輪転の規定課題は型代がかかるので、協賛会加入の型を製作している各社に協力を依頼し、一律型代五千円(税別)で手に入るの各社にお問い合わせ下さい。腐食刃はこの限りではありません。(なるべく平抜きで作業してください。その為に二回通し可としました。)

受付開始

平成二十九年六月一日(木)

応募〆切

平成二十九年七月二十日(木)連合会に必着
上記応募規定に適合した作品を〆切り前に連合会事務局に到着させること。
〆切り日に遅れた場合いかなる理由があっても失格となりますのでご注意ください。また、ロール紙で印刷してない・通し回数制限超え・枚数不足など作品に不備があった場合も審査対象外となります。
詳細はホームページで。
<http://www.seal.gr.jp/new/s/170526.php>

年次大会東京大会

パンフレットが完成

全日本シール印刷協同組合連合会主催の「第五十九回年次大会東京大会」の開催パンフレットがこのほど完成し、担当協組の東京都正札シール印刷協同組合から各協組に配布されました。

第五十九回年次大会は、今年十月十三日(金)に新宿の京王プラザホテルにて「伝統と革新」igo to Tokyo 2017

を開催テーマに、開催されます。
今回は参加者300名を予定しており、参加費は一律一名二万円となっております。今回は全国新理事長による特別座談会が予定されています。

また、恒例のシールラベルコンテストの全応募作品の展示なども予定されており、来年からは連合会の直営方式になるため、各協組が担当する大会としては最後度なる予定。

同封の申込書にご記入の上、奮ってご参加下さい。



規定課題デザイン 右が輪

転課題 左が平圧課題



■脳過敏症候群とは
脳神経外科の専門医で

ある、東京女子医科大学客員教授の清水俊彦先生が長年研究を続けてきた結果、耳鼻咽喉科の治療で改善しない耳鳴りやめまいは、内耳の機能障害が原因というよりも、実は脳の異常な興

No145 健康がいちばん!

脳過敏症候群とは

片頭痛に対する誤った対応

まいには、ある特徴があります。まず、耳鳴り(頭鳴)は、片側だけでなく、左右両耳に起こる場合がほとんどです。というよりも、「頭の中で誰かが太鼓をたたいていてる感じ」「頭の中でセミが鳴っている感じ」など、耳と

いうよりは頭の中で雑音が鳴っていると感じる患者さんが多くいます。一方のめまいについては、体がフワフワとふらつく浮動性のめまいがよく起こります。めまいとともに吐きけがすることも少なくありません。

さらに、不眠やイライラなど、「性格のせい、年のせい」と思い込んでしまうような症状を併発する場合もあります。

■脳過敏症だと脳波の波形が乱れる

奮状態に起因しているケースが圧倒的に多いことがわかってきました。つまり、原因の違う治療を受けていたため、耳鳴りやめまいが改善されなかったのです。脳の異常な興奮によって起こる耳鳴り(専門的には頭鳴という)やめ

耳鳴り(頭鳴)やめまいが、

顕著に改善する例が続出しています。

清水先生が研究を進めるうちに、脳過敏症候群の患者さんには共通した特徴があることにも気づきました。それは、現在または過去に、片頭痛に悩んでいた人に多く見られるということです。

実際に、脳過敏症候群の患者さんの脳波を調べると、健康な人との差は一目瞭然です。脳波とは、脳の神経細胞どうしで行われる情報交換を読み取り、電気信号で表したものです。

健康な人の脳波は、強弱を規則正しくくり返す波形になっていきますが、耳鳴り(頭鳴)やめまいを訴える片頭痛の患者さんの場合は規則性のない乱れた波形になっており、脳が興奮状態に陥っています。

脳波の波形が乱れている人は、典型的な脳過敏症候群と診断でき、耳鳴り(頭鳴)やめまいの原因は、脳の異常な興奮にあると考え

てほぼ間違いありません。■片頭痛に対する誤った対応が元凶

一般に、片頭痛のようなつらい痛みが現れると、市販の頭痛薬(NSAID5など)で痛みを和らげようとする人が多いと思います。ところが、市販の頭痛薬では、

表面的な痛みを取り除けても脳の興奮状態は放置されそのままになります。そして、くり返し起こる片頭痛に対して脳の興奮を鎮める対処がそのつどなされないと、脳の興奮はますます高まり、やがて少しの刺激でも興奮しやすくなります。ついには、脳の働きに混乱が生じて耳鳴り(頭鳴)やめまい、不眠などの不快な症状が現れてくるのです。

つまり、片頭痛への長年の不適切な対応が、脳過敏症候群を招く原因となるのです。

耳鼻咽喉科で治療を受けても、耳鳴り(頭鳴)やめまいが治らない人は、脳神経外科で脳波検査を受け

てみることをおすすめします。

《参考資料》
<http://kenkou4050.com/2016/05/26/post-212/>

16/05/26/post-212/

トーヨーコーポレーション(中央区日本橋人形町三の八の一) 電話五九五・〇五七六)では、インキつぼに貼るだけでインキ調整を簡単に作業で標準化できるインキプリセットシステム「TIPS2000」を販売し好評を博している。

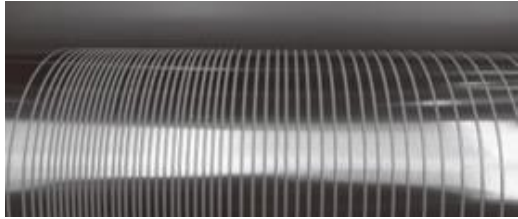
同製品は印刷機のインキつぼに「TIPS2000」で作成したフィルムブレードを貼るだけで、毎回のつぼ調整時間を削減できるインキプリセットシステム。すでに、フォーム印刷会社やラベル印刷会社

インキプリセットシステム TIPS2000

インキつぼに貼るだけで調整不要
印刷の立ち上がり早く損紙を削減



フィルムブレードがインキ量を調整



ソフトで計算されたフィルムブレードのスリットからインキを供給

で多数の導入実績があり、作業の効率化に役立っている。

特徴としては、

① インキつぼの調整不要

あらかじめ印刷機の情報を入力したTIPS2000に版ンデータを読み込み、ソフトがインキ供給量を自動計算し、これに基づいてパンチャーのFB140Pがフィルムブレードを作成します。

② 印刷機の改造不要

フィルムブレードは粘着塗工されており、つぼに貼りつけてインキの供給量を調節します。それ以外のインキの調整などは基本的には一切不要となり、インキ調整に必要だった時間は大幅に短縮できます。

③ 印刷の立ち上がりが早く、損紙、インキを削減

従来のつぼネジによる設定と比較し、立ち上げの時間を二割から三割短縮し、損紙では四割から五割削減できます。ビギナーの方でも

ベテランのオペレーターに匹敵する早い磨り出しと安定した品質を実現します。

この他にもソフト上で色の調整が可能、ツボねじよりの細かいコントロールが可能などの特徴があります。

インキ供出算出ソフト「TIPS2000」は、多彩な版面情報の読み取りに対応し、読み取ったデータからインキ供給量を算出します。

また、印刷機の設定を複数台登録できるため、版サイズの異なる印刷機を複数仕様の場合でも柔軟に対応できる。

